

3つの支援	支援名	支援内容
1 はじめる	スタンプラリーの認定	日本スタンプラリー協会が、認定スタンプラリーとして協会データベースに登録します。スタンプラリーを公に紹介する際に、「一般社団法人日本スタンプラリー協会 認定スタンプラリー」と謳うことができます。
	開催支援ツールのご提供	スタンプラリーの企画・運営を助けるツール群をご提供します。ツール群は不定期で改善を重ねております。改善があった場合は、開催者メールマガジンにおいてご連絡いたします。 <ツール例> スタンプラリーを企画する際の検討観点を網羅したワークシート、スタンプラリーを運営時の協力組織をまとめる管理表、等
2 あつめる	協会ホームページでご紹介	月間約10万アクセス(※)のある協会ホームページにおいて、登録スタンプラリーをご紹介します。※平成30年2月実績 また、通常のご紹介方法だけでなく、以下の方法でもご紹介いたします。 <認定マーク> 日本スタンプラリー協会の審査を通過した認定スタンプラリーであることを表すマークを表示します。信頼性と視認性が上がることにより、さらなる集客効果を狙えます。 <露出強化> 通常の検索結果だけでなく、トップページやサイドバーなどのピックアップエリアでご紹介します。露出が増えることにより、さらなる集客効果を狙えます。 <魅力紹介> 通常のスタンプラリー紹介ページだけでなく、特集ページを新設し詳しくスタンプラリーをご紹介します。スタンプラリーの魅力や開催者の想いを伝えることにより、さらなる集客効果を狙えます。 ※専用の申請書を送付いただく必要がございます。
	協会Twitterでご紹介	協会Twitterにおいて、「開始日の一週間前」「開始日」「終了日の一週間前」「終了日の前日」の計4回(※)、登録スタンプラリーを告知します。タイムリーな情報配信により、さらなる集客効果を狙えます。 ※既に予定日を過ぎている場合は、協会任意のタイミングで告知します。
3 つなげる	『スタンプラリー白書』のご提供	～スタンプラリー情報を繋げる～ 日本スタンプラリー協会は、約2,000件のスタンプラリー情報データベースを保有し(※)、日々掲載数を増やしています。このデータベースによるスタンプラリー分析レポート『スタンプラリー白書』をご提供いたします。また『スタンプラリー白書』は原則年次で更新を行っています。※平成30年2月実績 <分析の例> 景品有無・有料無料・地域・開催時期・期間等によるスタンプラリー分布、参加者が興味のあるスタンプラリーのテーマ、等
	スタンプラリーアーカイブスへの登録	～現在と未来を繋げる～ 「スタンプラリーが終わったら、途端に人が来なくなってしまった。」日本スタンプラリー協会は、スタンプラリーが終了しても開催地の魅力を伝えることができるよう、スタンプラリーを保存記録する「スタンプラリーアーカイブス」に取り組んでいます。スタンプラリー終了後も、興味のある人がそのスタンプラリーを巡ることができるように、スタンプ台設置場所の写真や住所、その魅力などを記録し、協会のホームページでご紹介いたします。 ※今後の展望としては、終了したスタンプラリーでも遊べる仕組みの提供を検討しております。ただし、この仕組みの提供を保証するものではありませんのでご理解ください。※専用の申請書を送付いただく必要がございます。
	開催者メールマガジンの発行	～開催者と協会を繋げる～ 日本スタンプラリー協会から開催者の皆様へ、スタンプラリーに関する情報発信を行ってまいります。 <メールマガジンの内容例> ・スタンプラリーに関する最新情報（おもしろスタンプ、参加人数がわかるスタンプ台、等） ・スタンプラリー開催支援ツールや『スタンプラリー白書』の改善連絡 ・協会の活動報告や、新たな取り組みのご案内 等